

むすび山～高川山報告

M・T

期 日：3月12日（水） 晴れ

コース：大月7：55～むすび山8：38～512.9m三角点9：20～田野倉分岐10：25～
禾生分岐11：35～高川山11：47～12：15～男坂経由初狩13：17

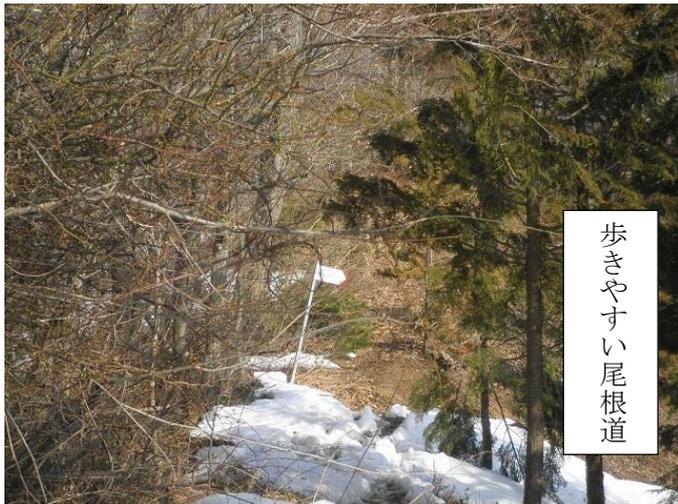
参加者：M・T

報 告：



民家の庭先が登山道へ続いている。芝生の上をブロック沿いに行くと登山道が現れる。以前、やはり明らかに民家の庭と思われる所を通過しようとして皆で家主さんに叱られた辛い思い出が有るのでどうかブロックの手前から見えている登山道に上がりたかったが、枯れた夏草やヤブカラシの蔓に覆われていて地面の様子が見えず失礼して庭を通らせてもらった。登山道に入るといきなりの急登の上ザラメ状の雪がかなり深い状態で融けずに残っている。凍ってはいないのでツボ足で頑張る。登りきると砲火台跡の有るむすび山。その先は、さっ

きの雪が信じられないぐらい歩きやすそうな尾根道が目の前に有った。



歩きやすい尾根道

雪が全く無い訳ではないが、普通に歩けたのは9：43分迄でいきなりの豪雪地帯登場。これをかすかに期待して来たから嬉しい。



根開け



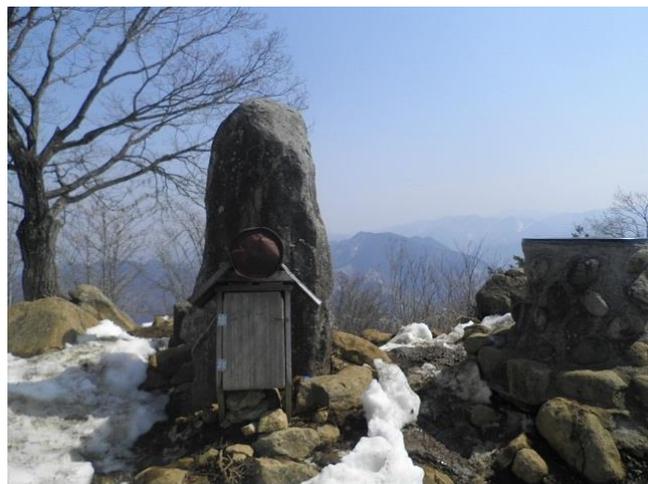
太い幹の周りの根開けが大きい

黒い根開けから雪融けが進む。
根開けとは、幹の周りの雪溶け穴。雪面では太陽の反射率が高いが幹の周りでは木に吸収されるの太陽の熱で木の周りから融ける等他にも幾つか理由が有るようです。



山頂近くの大岩が続く道。岩の周りは雪融けが進みズボッと潜る危険は無くなっていた。

もうすぐ高川山山頂。意地でアイゼンを付けずに靴底から足裏に伝わる雪の感触を楽しんで登ってきたので、思いのほか時間がかかり最後は立休みの連続となった。



高川山山頂。早くも春霞で富士山は霞んで感嘆の声は無し。先客6人と離れた所で御正体山に向かって食事をする。座って休まなかったため、ゆっくり昼食&休憩を取る。雪があったとはいえ、山頂まで3時間30分近くかかっている。エアリアマップコースタイムは大月駅より3時間15分。少し遅れ気味。ゆっくり休んだ後やはり何に対する意地か自分でもわからないがアイゼンを付けずに初狩駅目指して出発。



下りは男坂を下りたが林道に着くまで3回も尻餅をつきスパッツも外したままだったので靴の中に雪が飛び込んでくる始末。冷たいのを我慢して初狩駅迄1時間強で帰り着く。4月2日迄後3週間。登山日までの登山道の様子が気にかかる。4月2日の登山道は状態が良くないこと

が思われる。後3週間でカタクリは咲くのだろうか？必死に登山道の両サイドを見ながら歩いたが、目に映るのは雪ばかりだった。

